

# 北海道浮魚ニュース

平成 20(2008)年度 15 号 (通巻 No.267)

2008 年 9 月 4 日

北海道立水産試験場

ホームページ : [http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki\\_index.htm](http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm)

## 道西日本海スルメイカ調査結果

中央水産試験場試験調査船おやしお丸で実施したスルメイカ調査の結果をお知らせします。

- ・調査期間 : 2008 年 9 月 1 日 ~ 9 月 3 日
- ・調査船 : おやしお丸 (イカ釣機 6 台、イカ釣り用集魚灯 22 灯装備)

CPUE 2,13、外套長のモードは 22,25cm

(モード : 最も多く漁獲されたイカの大きさ)

### スルメイカの分布密度

スルメイカの分布密度 (CPUE : 自動いか釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は沖合で 13、積丹半島先端で 2 でした (図 1)。2 調査点の平均 CPUE は 7 で、前年 (2) を上回りました。

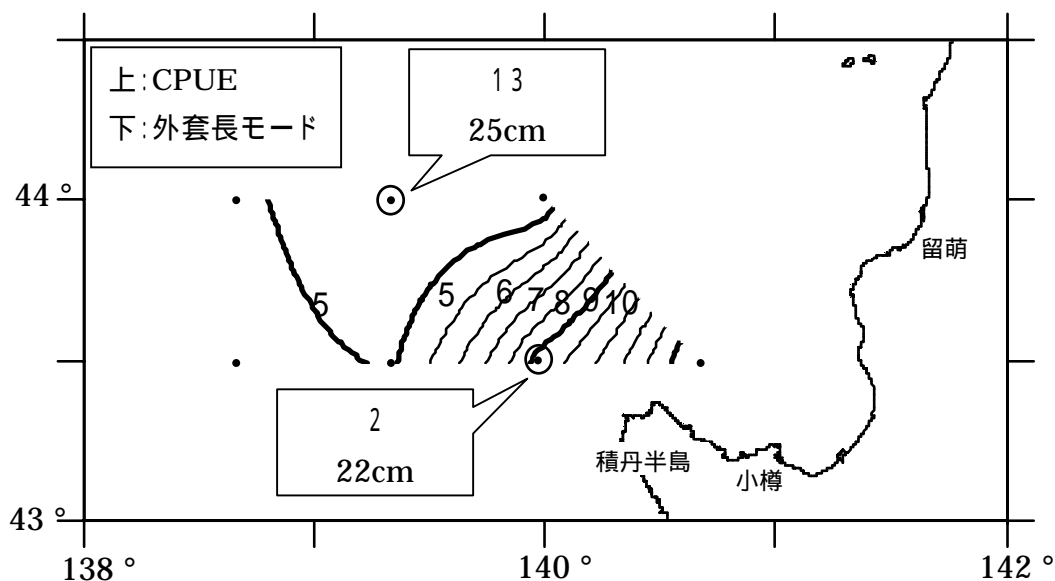
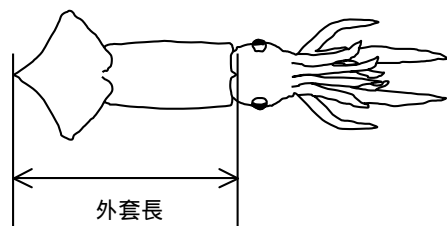


図1 スルメイカの分布密度と外套長組成のモードおよび  
50m深水温分布

### スルメイカの大きさ

スルメイカの大きさは、海域全体では外套長 (胴長) が 19 ~ 32cm (前年 : 17 ~ 29cm) の範囲にありました (図 2)。外套長 (胴長) 組成のモードは、沖合が 25cm、積丹半島先端で 22cm でした (図 1)。



調査海域全体のモードは、25cm で前年（24cm）よりも大きく、また、20cm 以下の小さいイカが前年よりも少ない傾向が見られました（図2）。

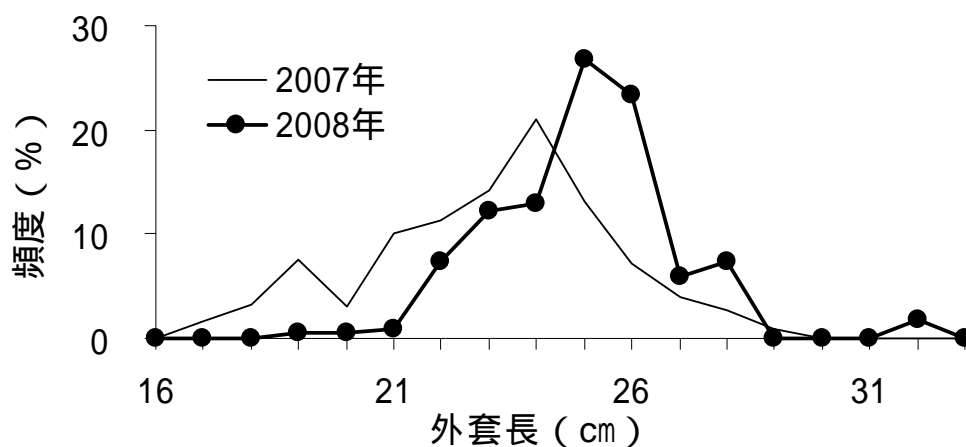


図2 スルメイカの外套長組成図

#### 水温分布

調査海域の表面水温は、19.8～24.5（前年：20.3～24.5）でした。50m 深水温は、4.1～16.4（前年：5.9～17.1）でした。50m深水温分布で見ると、5 以下の水域が沖合で広がり、前年よりも水温が低くなっていました。

（文責：中央水産試験場資源管理部，TEL:0135-23-8707，FAX:0135-23-8709）